



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404
ファイナンス部長
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	241,170	△2.2	12,670	△20.4	15,328	△14.8	8,216	△36.8
2023年12月期第3四半期	246,541	9.1	15,910	30.7	17,994	37.6	12,992	24.8

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 10,489百万円 (△59.3%) 2023年12月期第3四半期 25,741百万円 (12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	129.18	-
2023年12月期第3四半期	204.31	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	361,864	265,738	73.3
2023年12月期	395,743	263,116	66.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 265,133百万円 2023年12月期 262,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	40.00	-	40.00	80.00
2024年12月期	-	45.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	330,000	△0.8	14,000	△24.8	16,000	△24.8	11,000	△22.2	172.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社（社名）株式会社Greenspoon、除外 1社（社名）

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	68,468,569株	2023年12月期	68,468,569株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	4,803,160株	2023年12月期	4,878,498株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	63,603,949株	2023年12月期3Q	63,590,496株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
※参考資料 2024年12月期 第3四半期決算短信補足説明資料	12

[期中レビュー報告書]

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、物価上昇、不安定な世界情勢、欧米における金利高止まり等による海外景気の下振れリスク等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

一方、バリューチェーン構築と経営の迅速な意思決定を目的に、2024年4月3日に切り替えを実施した当社の基幹システムにおいて、システム障害が発生したことにより、チルド商品（冷蔵品）の出荷業務を停止いたしました。必要な対策を行った上で、安定供給の観点から、6月25日より段階的な出荷再開を進めております。

その結果、売上面では、海外事業等で前年同期を上回ったものの、システム障害に伴うチルド商品出荷停止の影響により、主に、乳業事業で大きく前年同期を下回ったため、当第3四半期連結累計期間の売上高は241,170百万円となり、前年同期（246,541百万円）に比べ2.2%の減収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、海外事業における中国、ASEAN、米国で低下したこと等により前年同期に比べ2.2ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、給与及び手当等が増加しました。

その結果、営業利益は12,670百万円となり、前年同期（15,910百万円）に比べ3,239百万円の減益となりました。経常利益は営業利益段階における減益等により、15,328百万円となり、前年同期（17,994百万円）に比べ2,665百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益はシステム障害対応費用等により8,216百万円となり、前年同期（12,992百万円）に比べ4,776百万円の減益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円、％）

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
健康・食品事業	39,165	36,837	△2,327	△5.9	2,281	1,508	△772	△33.9
乳業事業	53,431	41,912	△11,518	△21.6	1,230	△3,095	△4,326	—
栄養菓子事業	42,185	43,325	1,140	2.7	3,996	3,387	△608	△15.2
食品原料事業	9,928	10,340	412	4.2	1,878	1,594	△283	△15.1
国内その他事業	50,069	49,881	△188	△0.4	1,837	292	△1,544	△84.1
海外事業	51,761	58,871	7,110	13.7	3,506	6,668	3,162	90.2
調整	—	—	—	—	1,180	2,314	1,133	96.0
合計	246,541	241,170	△5,370	△2.2	15,910	12,670	△3,239	△20.4

（注）調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等があります。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<健康・食品事業>

売上面では、“パピコ”“アイスの実”等は前年同期を上回りましたが、チルド商品出荷停止の影響により“アーモンド効果”“幼児のみもの”等が前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,837百万円となり、前年同期（39,165百万円）に比べ5.9%の減収となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は1,508百万円となり、前年同期（2,281百万円）に比べ772百万円の減益となりました。

<乳業事業>

売上面では、“ジャイアントコーン” “セブントーンアイス”等は前年同期を上回りましたが、チルド商品出荷停止の影響により“カフェオーレ” “BifiXヨーグルト”等が前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は41,912百万円となり、前年同期（53,431百万円）に比べ21.6%の減収となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少等により、営業損失は3,095百万円となり、前年同期（1,230百万円）に比べ4,326百万円の減益となりました。

<栄養菓子事業>

売上面では、チルド商品出荷停止の影響により“とろ〜りクリームon”等は前年同期を下回りましたが、“ポッキー” “ビスコ”等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は43,325百万円となり、前年同期（42,185百万円）に比べ2.7%の増収となりました。

利益面では、広告宣伝費の増加等により、営業利益は3,387百万円となり、前年同期（3,996百万円）に比べ608百万円の減益となりました。

<食品原料事業>

売上面では、「小麦たん白」 “GMIX”等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,340百万円となり、前年同期（9,928百万円）に比べ4.2%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は1,594百万円となり、前年同期（1,878百万円）に比べ283百万円の減益となりました。

<国内その他事業>

売上面では、卸売販売子会社の売上高、「オフィスグリコ」等が前年同期を上回りましたが、チルド商品出荷停止の影響によりキリンビバレッジ株式会社の受託販売等が前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は49,881百万円となり、前年同期（50,069百万円）に比べ0.4%の減収となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は292百万円となり、前年同期（1,837百万円）に比べ1,544百万円の減益となりました。

<海外事業>

売上面では、地域別において、中国等で前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は58,871百万円となり、前年同期（51,761百万円）に比べ13.7%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は6,668百万円となり、前年同期（3,506百万円）に比べ3,162百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は361,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ33,879百万円減少しました。流動資産は151,287百万円となり、37,177百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品等が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金等が減少したことによるものであります。固定資産は210,576百万円となり、3,298百万円増加しました。主な要因は、ソフトウェア、機械装置及び運搬具等が増加したことによるものであります。

負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は96,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ36,501百万円減少しました。主な要因は、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債等が減少したことによるものであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は265,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,621百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当により5,405百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益8,216百万円を獲得したこと及び為替換算調整勘定が1,986百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は73.3%（前連結会計年度末比7.0ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月8日の「2024年12月期 第1四半期決算短信」で公表した通期連結業績予想を以下のとおり修正しております。

2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	336,000	14,000	16,000	11,000	172.98
今回修正予想(B)	330,000	14,000	16,000	11,000	172.98
増減額(B-A)	△6,000	0	0	0	—
増減率(%)	△1.8	0	0	0	—
(ご参考) 前年通期実績	332,590	18,622	21,285	14,133	222.25

当社の基幹システム切替時に発生したシステム障害の影響で、チルド商品（冷蔵品）の出荷業務を一時停止し、必要な対策を行った上で、現在、段階的に出荷再開を進めておりますが、主に乳業事業で売上高が想定を下回る見込みであることから、予想を修正するものであります。利益面につきましては、前回発表予想から変更はありません。

なお、セグメント別売上高及び営業利益の予想数値につきましては、添付資料14ページ「2024年12月期 第3四半期決算短信補足説明資料 連結業績予想」をご覧ください。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	97,199	54,175
受取手形及び売掛金	48,433	41,896
商品及び製品	16,724	22,076
仕掛品	1,009	1,300
原材料及び貯蔵品	16,109	19,027
その他	9,087	12,911
貸倒引当金	△98	△100
流動資産合計	188,464	151,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,203	42,891
機械装置及び運搬具（純額）	35,585	39,973
工具、器具及び備品（純額）	5,175	6,194
土地	16,069	16,105
リース資産（純額）	1,621	2,557
建設仮勘定	12,803	2,288
有形固定資産合計	111,459	110,010
無形固定資産		
ソフトウェア	3,758	23,670
ソフトウェア仮勘定	22,477	4,532
のれん	306	1,866
その他	367	526
無形固定資産合計	26,909	30,595
投資その他の資産		
投資有価証券	46,840	47,828
退職給付に係る資産	5,639	5,920
投資不動産（純額）	12,224	12,232
その他	4,259	4,027
貸倒引当金	△55	△40
投資その他の資産合計	68,909	69,969
固定資産合計	207,278	210,576
資産合計	395,743	361,864

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,326	34,960
短期借入金	—	22
未払費用	25,837	23,302
未払法人税等	3,181	1,988
返金負債	8,383	8,158
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	30,001	—
役員賞与引当金	80	—
株式給付引当金	45	—
システム障害対応費用引当金	—	1,298
その他	10,133	9,091
流動負債合計	115,991	78,822
固定負債		
長期借入金	—	165
退職給付に係る負債	1,426	1,451
繰延税金負債	8,977	8,714
その他	6,231	6,972
固定負債合計	16,635	17,303
負債合計	132,626	96,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,894	7,230
利益剰余金	226,230	229,041
自己株式	△13,809	△13,597
株主資本合計	230,089	230,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,604	15,651
繰延ヘッジ損益	164	△386
為替換算調整勘定	16,573	18,560
退職給付に係る調整累計額	1,111	860
その他の包括利益累計額合計	32,454	34,686
非支配株主持分	572	604
純資産合計	263,116	265,738
負債純資産合計	395,743	361,864

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	246,541	241,170
売上原価	154,794	146,053
売上総利益	91,746	95,116
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	19,681	19,773
販売促進費	7,429	7,518
広告宣伝費	8,592	10,134
給料及び手当	15,071	16,320
退職給付費用	315	132
その他	24,744	28,566
販売費及び一般管理費合計	75,835	82,446
営業利益	15,910	12,670
営業外収益		
受取利息	432	650
受取配当金	327	386
為替差益	275	320
持分法による投資利益	731	695
補助金収入	343	497
不動産賃貸料	452	483
その他	828	778
営業外収益合計	3,391	3,812
営業外費用		
支払利息	60	58
寄付金	609	172
投資事業組合運用損	275	120
固定資産除却損	53	218
固定資産廃棄損	10	33
その他	298	550
営業外費用合計	1,307	1,154
経常利益	17,994	15,328
特別利益		
持分変動利益	400	—
投資有価証券売却益	16	1,129
段階取得に係る差益	—	1,563
特別利益合計	416	2,692
特別損失		
減損損失	248	—
投資有価証券評価損	35	269
子会社清算損	30	—
システム障害対応費用	—	6,288
特別損失合計	314	6,557
税金等調整前四半期純利益	18,096	11,463
法人税、住民税及び事業税	5,249	3,757
法人税等調整額	△196	△557
法人税等合計	5,052	3,200
四半期純利益	13,043	8,263
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,992	8,216
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	46

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,313	1,046
繰延ヘッジ損益	951	△550
為替換算調整勘定	6,834	1,820
退職給付に係る調整額	△144	△250
持分法適用会社に対する持分相当額	743	160
その他の包括利益合計	12,698	2,225
四半期包括利益	25,741	10,489
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,665	10,448
非支配株主に係る四半期包括利益	75	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月3日付で連結子会社である株式会社Greenspoonの株式を追加取得し、完全子会社といたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が2,777百万円減少しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であった株式会社Greenspoonに対して融資を実行した結果、当該融資が同社の資金調達額の総額の過半を超えたことに伴い、実質支配力基準に基づき子会社となったため、連結の範囲に含めております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法は主に定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

当社は、粉ミルクの生産拠点を、老朽化した柏原工場から岐阜の新工場に移転させることを契機に、有形固定資産の使用実態を見直し、減価償却方法を再検討いたしました。その結果、今後は長期的に安定的な稼働が見込まれることから、取得価額を使用可能期間にわたり均等に費用配分する定額法が、有形固定資産の使用実態をより適切に反映させることができると判断いたしました。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1,238百万円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	10,372百万円	12,011百万円

※のれんの償却額については重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年1月1日至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	39,165	53,431	42,185	9,928	50,069	51,761	246,541	—	246,541
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	39,165	53,431	42,185	9,928	50,069	51,761	246,541	—	246,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	231	8,141	—	8,372	△8,372	—
計	39,165	53,431	42,185	10,159	58,211	51,761	254,914	△8,372	246,541
セグメント利益又は損 失(△)	2,281	1,230	3,996	1,878	1,837	3,506	14,729	1,180	15,910

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1,180百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,481百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△301百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年1月1日至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	36,837	41,912	43,325	10,340	49,881	58,871	241,170	—	241,170
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	36,837	41,912	43,325	10,340	49,881	58,871	241,170	—	241,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	237	9,770	—	10,008	△10,008	—
計	36,837	41,912	43,325	10,578	59,652	58,871	251,178	△10,008	241,170
セグメント利益又は損 失(△)	1,508	△3,095	3,387	1,594	292	6,668	10,356	2,314	12,670

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,314百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,370百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等944百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

第2四半期連結会計期間において、株式会社Greenspoonを連結の範囲に含めたことにより、「国内その他事業」において、のれんが1,771百万円発生しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法については、従来、当社及び国内連結子会社は主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「健康・食品事業」で167百万円、「乳業事業」で748百万円、「栄養菓子事業」で245百万円、「食品原料事業」で26百万円、「国内その他事業」で50百万円それぞれ増加しております。

決算短信補足説明資料

-24年12月期 第3四半期決算-

連結経営成績（百万円未満、百万円未満、百万米ドル未満は切り捨て）

(1) 売上高・利益の概況

単位：百万円

	23/12期 (1月-9月)	24/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	246,541	241,170	△5,370	△2.2
営業利益	15,910	12,670	△3,239	△20.4
経常利益	17,994	15,328	△2,665	△14.8
当期純利益	12,992	8,216	△4,776	△36.8

(2) 営業利益の状況

単位：百万円

	23/12期		24/12期	
	(1月-9月)	売上比(%)	(1月-9月)	売上比(%)
売上高	246,541	100.0	241,170	100.0
売上原価	154,794	62.8	146,053	60.6
売上総利益	91,746	37.2	95,116	39.4
運賃保管料	19,681	8.0	19,773	8.2
販売促進費	7,429	3.0	7,518	3.1
広告費	8,592	3.5	10,134	4.2
人件費・厚生費	23,634	9.6	25,307	10.5
経費・償却費	16,497	6.7	19,712	8.2
販売費及び一般管理費	75,835	30.8	82,446	34.2
営業利益	15,910	6.5	12,670	5.3

営業利益の増減要因	対23/12期 (1月-9月)	
	内	国内
①売上高増減による増減益	△2,301	△4,927
②原材料価格変動による増減益	△3,656	△4,320
③原価のその他変動による増減益*	9,756	6,911
④運賃保管料比率変動による増減益	△520	△627
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	△1,631	△483
⑥一般管理費増減による増減益	△4,887	△2,956
合計	△3,239	△6,402

* 販売品種構成の変化等の増減益を含む

(3) セグメント別売上高の状況

単位：百万円

		23/12期 (1月-9月)	24/12期 (1月-9月)	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	健康	9,616	7,470	△2,145	△22.3
	アイスクリーム	17,614	19,139	1,525	8.7
	その他	11,934	10,227	△1,706	△14.3
	計	39,165	36,837	△2,327	△5.9
乳業事業	発酵乳	9,100	4,189	△4,910	△54.0
	アイスクリーム	22,755	24,704	1,948	8.6
	その他	21,575	13,018	△8,556	△39.7
	計	53,431	41,912	△11,518	△21.6
栄養菓子事業	チョコレート	23,035	24,640	1,604	7.0
	ビスケット	14,734	16,749	2,014	13.7
	その他	4,415	1,935	△2,479	△56.2
	計	42,185	43,325	1,140	2.7
食品原料事業		9,928	10,340	412	4.2
国内その他事業		50,069	49,881	△188	△0.4
海外事業		51,761	58,871	7,110	13.7
合計		246,541	241,170	△5,370	△2.2

(4) セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

	23/12期 (1月-9月)	24/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
健康・食品事業	2,281	1,508	△772	△33.9
乳業事業	1,230	△3,095	△4,326	—
栄養菓子事業	3,996	3,387	△608	△15.2
食品原料事業	1,878	1,594	△283	△15.1
国内その他事業	1,837	292	△1,544	△84.1
海外事業	3,506	6,668	3,162	90.2
調整	1,180	2,314	1,133	96.0
合計	15,910	12,670	△3,239	△20.4

(5) 海外事業—地域別の売上高、営業利益

* 以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。

また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国

単位：百万円

	23/12期 (1月-9月)	24/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	1,073	1,335	261	24.4
営業利益	101	176	74	73.2

◆ASEAN

単位：百万米ドル

	23/12期 (1月-9月)	24/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	95	95	0	0.0
営業利益	△5	0	5	—

※23/12期(1-9月)の実績は、24/12期(1-9月)の平均レートで置き換えています。

◆米国

単位：百万米ドル

	23/12期 (1月-9月)	24/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	89	77	△12	△13.4
営業利益	18	21	3	16.7

※米国については、連結ベースの数字です。

連結業績予想

(1) セグメント別売上高の通期予想

単位：百万円

	23/12期 (1月-12月) 実績	24/12期 (1月-12月) 前回発表予想	24/12期 (1月-12月) 今回予想	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	50,499	48,500	47,500	△2,999	△5.9
乳業事業	69,675	60,000	56,500	△13,175	△18.9
栄養菓子事業	61,890	63,200	63,200	1,309	2.1
食品原料事業	13,348	13,700	13,700	351	2.6
国内その他事業	65,962	65,600	65,600	△362	△0.6
海外事業	71,214	85,000	83,500	12,285	17.3
合計	332,590	336,000	330,000	△2,590	△0.8

(2) セグメント別営業利益の通期予想

単位：百万円

	23/12期 (1月-12月) 実績	24/12期 (1月-12月) 前回発表予想	24/12期 (1月-12月) 今回予想	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	2,064	800	800	△1,264	△61.2
乳業事業	529	△3,300	△4,800	△5,329	—
栄養菓子事業	6,525	4,800	4,800	△1,725	△26.4
食品原料事業	2,427	2,090	2,090	△337	△13.9
国内その他事業	2,047	1,180	680	△1,367	△66.8
海外事業	4,165	8,000	8,500	4,334	104.1
調整	862	430	1,930	1,067	123.8
合計	18,622	14,000	14,000	△4,622	△24.8

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年11月6日

江崎グリコ株式会社
取締役会 御中EY新日本有限責任監査法人
大 阪 事 務 所指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松浦 大指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 美和 一馬

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている江崎グリコ株式会社の2024年1月1日から2024年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2024年7月1日から2024年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年1月1日から2024年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

強調事項

注記事項（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）に記載されているとおり、会社及び国内連結子会社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について主として定率法を採用していたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。